# 取扱説明書

## モノタロウ 電動ポリシャーハンドル付高出力タイプ

**注文コード:33277659**

## M-180JP

このたびはモノタロウ電動ポリシャー M-180JP をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用をされる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を充分にご理解をされたうえで、適切な取り扱いと保守をして頂きますようお願い申し上げます。

二重絶縁

⚠ 警告 身の安全を守るために使用前に本取扱説明書を読み理解してください。
今後の参照のために本取扱説明書を保存してください。

# お使いになる前に

## 【安全にお使いいただくために】

- 本説明書を最後までお読みいただき、本製品の性能を充分にご理解してください。また、本説明書の指示に従い適切な取り扱いと保守をして頂きますようお願い申し上げます。本説明書に記載する指示に従わない場合、感電、火災または人身事故につながることがあります。
  取り扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
  今後の参照のために本説明書を保存してください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するため、下記のように『警告』で区分しています。
  安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

| ⚠ 警告 | **この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、<br>死亡や重症などの重大な障害に結びつく可能性があります。** |
|---|---|

## A. 作業環境に関する安全事項

1. 作業場は整理整頓をして、十分な照明を使用してください。散らかった作業台や暗い場所での作業は事故を招きます。
2. 電動ポリシャーは爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんなどがある環境では使用しないでください。電動ポリシャーは粉じんまたはヒュームを発火させることがある火花を発生させることがあります。
3. 電動ポリシャーの使用中は、子供及び第三者を近づけないでください。
   注意が散漫になり、作業に集中できず、操作を誤る原因となります。
   その結果、けがをするおそれがあります。

## B. 電気に関する安全事項

1. 電動ポリシャーのプラグを差し込む前に、電動ポリシャーの銘板に印した電圧（AC100V）であるか確かめてください。AC100V 以外の電源で使用しないでください。
   どのような形にせよ、プラグは絶対に改造をしないでください。
2. パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などのアースされたものに身体を接触させないでください。作業者の身体が接触した場合は、感電の危険が増大します。雨の中や湿気の多い場所では電動ポリシャーは使用しないでください。
   電動ポリシャーを屋外で使用される際には、以下の 3. から 5. に注意してください。
3. 電動ポリシャーを雨や湿気にさらさないでください。電動ポリシャーに水が入ると感電の危険が増大します。
4. コードを乱暴に扱わないでください。コードを用いて電動ポリシャーを運んだり、プラグを抜いたりしないでください。コードは熱、油、角のとがったところ、または動くものから離してください。コードが損傷した場合はすぐに使用をやめてください。損傷したコード、絡まったコードの使用は感電の危険が増大します。
5. 電動ポリシャーを屋外で使用する場合には、屋外の使用に適した延長コードを使用してください。屋外の使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクは低減されます。
6. やむを得ず湿気の多い場所でツールを使用する場合、残留電流装置 (RCD) で保護された供給品を使用してください。RCD の使用は感電の危険を減らします。

## C. 作業者に関する安全事項

1. 電動ポリシャーの使用中は作業に集中し、注意を怠らず、常識に従って行動してください。疲れている時、アルコールまたは医薬品を飲んでいるときは、電動ポリシャーを使用しないでください。電動ポリシャーを使用中の一瞬の不注意は、深刻な人的損害をもたらすことがあります。
2. 安全保護具を必ず使用してください。常に保護めがねを装着してください。適切な状態で防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメット又は耳栓などの安全保護具を使用することで、傷害事故が低減されます。
3. 偶発的な始動を避けてください。プラグに差し込む前に必ずスイッチを「オフ OFF」にしてください。スイッチに指を掛けて電動ポリシャーを運んだり、スイッチが「オン ON」の状態で電動ポリシャーのプラグを差し込むと、事故につながるおそれがあります。
4. 電動ポリシャーのスイッチを「オン ON」にして電源を入れる前に、工具等を取り外してください。電動ポリシャーの回転部に工具等を付けたままにしておくと、人身事故を起こすおそれがあります。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。常に適切な足場とバランスを保ってください。適切な足場とバランスを保つことで、予期しない状況でも電動ポリシャーをより適切に操作をすることができます。
6. 適切な衣服を着用して作業をしてください。サイズが大きい衣服や装飾品を身に着けないでください。長髪は束ねてください。髪、衣服、手袋は可動部から離してください。サイズが大きい衣服、装飾品または長髪は、可動部に巻き込まれるおそれがあります。ハンドルはオイルやグリースの付着がなく、乾燥した清潔な状態に保ってください。

## D. 電動ポリシャーの使用及び手入れ

1. 電動ポリシャーを無理に使用しないでください。用途に適した電動ポリシャーを使用してください。用途に適した電動ポリシャーは、より適切、かつ、安全な作業ができます。
2. スイッチで始動及び停止操作のできない場合、その電動ポリシャーを使用しないでください。スイッチで制御できない電動ポリシャーは危険です。
3. 調整を行う前、バフなどの付属品を交換する前、電動ポリシャーを保管をする前には必ず電源プラグを抜いてください。そうした安全予防対策で、電動ポリシャーが偶発的に始動する危険が軽減されます。
4. 使用しない電動ポリシャーは子供の手の届かないところに保管してください。
   電動ポリシャーの説明書に精通していない作業者には電動ポリシャーを使用させないでください。
   電動ポリシャーに不慣れな作業者が扱うと危険です。
5. 電動ポリシャーの保守を行ってください。電動ポリシャーの動作に影響するおそれがある可動部分の芯ずれまたは締付け状態、部品の破損及びその他の状態を点検してください。
   異常がある場合は、電動ポリシャーを使用しないでください。電動ポリシャーの保守が不十分であることが、多くの事故の原因となっています。
6. 電動ポリシャーは丁寧に扱ってください。バフ等は清潔な状態にしておいてください。バフ等は適切に交換をしてください。清潔なバフ等は滑らかに動き、操作が容易です。
7. 改造は誤用に繋がり、危険な状況になることがあります。

## E. 整備に関する安全事項

部品の破損、および操作に差し障る状態がないかチェックしてください。損傷がある場合、使用しないでください。
多くの事故は整備の不良でおこります。
電動ポリシャーの整備は有資格の方のみが行ってください。知識や技術のない方による修理や整備は負傷の危険があります。
電動ポリシャーを整備する場合、純正交換部品のみを使用してください。

## 【本製品を安全にお使いいただくために】

本製品は、研磨工具です。けがの原因になりますので、これ以外の作業は行わないでください。
本製品をご使用の際には、下記に述べる警告事項もお守りください。

**⚠ 警告** **この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重症などの重大な障害に結びつく可能性があります。**

1. 回転部分で電源コードを切断しないように注意してください。誤って切断したり傷をつけた場合は、作業者が感電するおそれがありますので、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
2. 電源コードに回転部分を近づけないでください。可動中に電源コードがひっかかり、怪我をするおそれがあります。
3. 電源コードは回転部分から離してください。手や腕にコードを巻き付けないでください。制御不能になります。コードが手や腕に巻き付いた場合、抜けられずに負傷することがあります。
4. 可燃物の近くで研磨作業を行わないでください。
5. スイッチを「オフ OFF」にした後、回転部分が完全に停止してから電動ポリシャーを置いてください。回転部分が完全に停止せずに置くと、電動ポリシャーが思わぬ動きをして、けがをするおそれがあります。
6. けがのおそれがありますので、回転中の回転部分に手や顔を近づけないでください。
7. 使用中に調子が悪かったり、異音がしたときは、すぐにスイッチを「オフ OFF」にして使用を止めてください。
8. 感電のおそれがありますので、水などをかけて使用しないでください。

9. 電動ポリシャーを使用するときは、過剰な力で押し付けたりしないでください。作業対象物が損傷したりモーターが焼けてしまい、けがの原因になります。
10. 電動ポリシャーは適切な用途以外で使用しないでください。損傷やけがの原因になります。
11. パッド、カバー、バフ等は確実に取付をしてください。
    電動ポリシャーから外れてしまうと、けがの原因になります。
12. 高所で作業をされるときは、下に人がいないことを必ず確認してください。電動ポリシャーやバフ等が落下すると事故の原因になります。
13. 調整を行う前、カバー、バフなどの付属品を交換する前、電動ポリシャーを保管をする前には必ず電源プラグを抜いてください。そうした安全予防対策で、電動ポリシャーが偶発的に始動する危険が軽減されます。
14. ご使用前には必ず電動ポリシャー本体、パッド、カバー、バフ等に汚れがないかを確認してください。汚れが付着していると、作業対象物が損傷するおそれがあります。
15. ご使用になられないときは、汚れがつかないように保管をしてください。
16. 雨の中や湿気の多い場所では電動ポリシャーは使用しないでください。感電の危険が増大します。
17. 電動ポリシャーを使用する前には必ず作業対象物（車等）を洗浄してきれいな状態であること、乾いた状態であることを確認してください。
    汚れた状態、乾いていない状態で電動ポリシャーを使用すると、作業対象物（車等）にキズが発生するおそれがあります。
18. 本製品は長時間使用には向いてません。30 分未満での使用をお勧めします。
19. 危険ですので本製品は片手で操作をしないでください。必ず両手でしっかりとハンドルを持って作業をしてください。

## 【各部の名称】

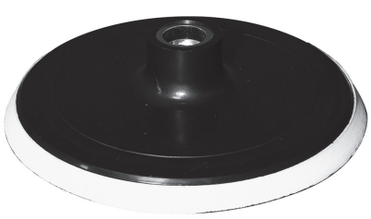
図 1

## 【付属品】

スポンジ 2 枚

毛バフ 1 枚

タオル地バフ 1 枚



ベースパッド 1 個

補助ハンドル 1 個

スパナ 1 個

## ■仕様

| | |
|---|---|
| 電圧 :AC100V | パッドサイズ : φ 180mm |
| 定格周波数 :50/60Hz | コード長さ：5M |
| 消費電力 : 900W | 本体重量：約 2.4kg（付属品除く） |
| 回転数 : 600 ～ 2000/min | 材質：ナイロン |



電動ポリシャー_manual.indd 7 2019/03/14 17:46:51

## 【ご使用前に】

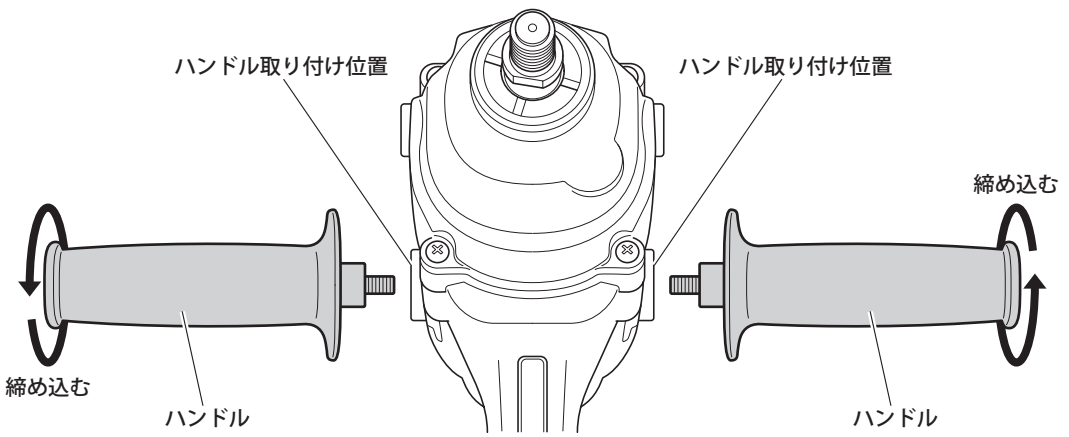
**⚠ 警告** **この表示内容を無視して誤った使い方をした場合は、死亡や重症などの重大な障害に結びつく可能性があります。**

- 電動ポリシャーを使用する前には必ず作業対象物（車等）を洗浄してきれいな状態であること、乾いた状態であることを確認してください。
  汚れた状態、乾いていない状態で電動ポリシャーを使用すると、作業対象物（車等）にキズが発生するおそれがあります。
  また、雨の中や湿気の多い場所では電動ポリシャーは使用しないでください。感電の危険が増大します。
- 付属品の取付、調整または変更をする前に、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。電源コンセントから電源プラグを抜くことは、電動ポリシャーが偶発的に始動する危険が軽減されます。
- 使用前に必ず電源の電圧をチェックしてください。
  必ず本製品に表示されている AC100V で使用してください。
- 必ず付属の部品を使用してください。

### ■補助ハンドルの取付

※ 作業をするときは必ず補助ハンドルを取付けてください。

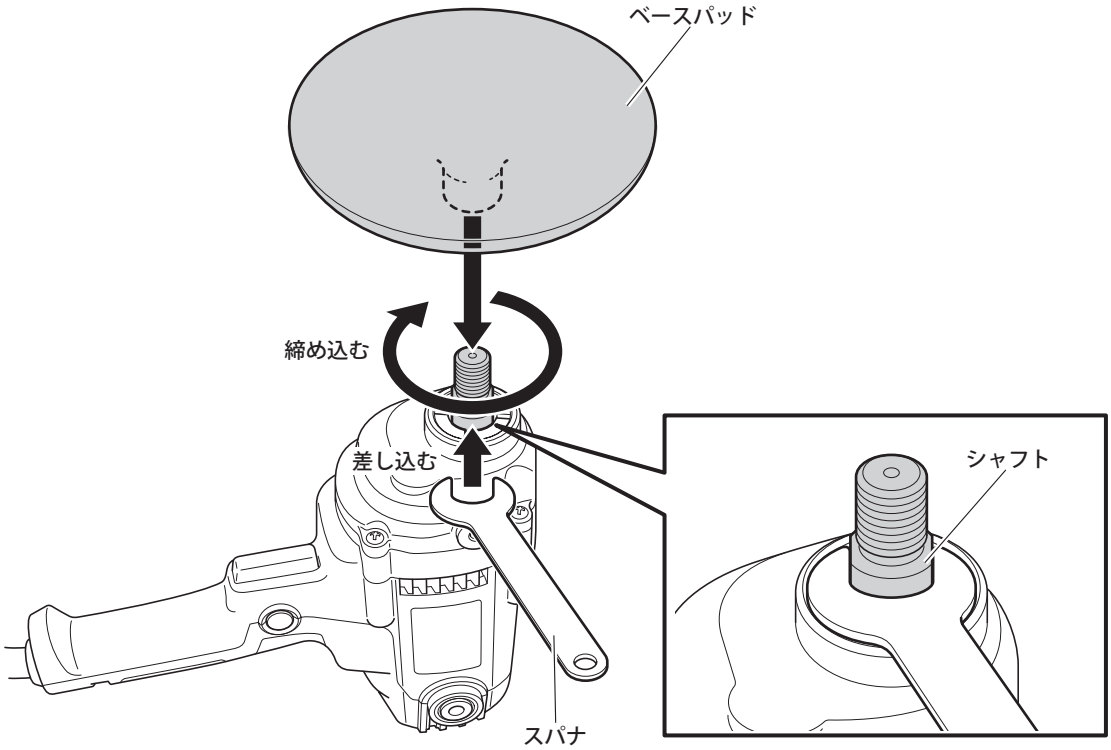
1. 本体側面にある取付穴に補助ハンドルを最後までしっかりねじ込んでください。
   ・左右どちらでも取付可能です。



## ■ベースパッドの取付

※ 必ずスイッチが切れた状態で、電源コンセントから電源プラグを抜き、ベースパッドを取付けてください。

1. 本体を逆さまにしてシャフトの切り欠き部にスパナを差し込み、シャフトが回転しないように固定しながらベースパッドを最後までしっかり締め込んでください。




## ■スポンジの取付

1. 電源スイッチが「オフ OFF」になっているかを確認してください。
2. スポンジをベースパッドの中心に合わせて、しっかり取付けてください ( 図 2)。

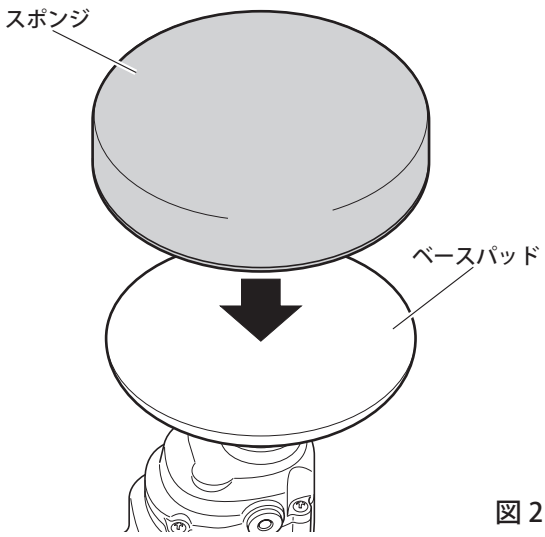



図 2

3. タオル地バフ、毛バフの取付

- 電源スイッチが「オフ OFF」になっているかを確認してください。
- バフの内側が外側になるように裏返します（図 3）。
- バフの中心をスポンジ、ベースパッドの中心に合わせ、それらをセットします（図 4）。
- バフはスポンジ、ベースパッド部分を完全に覆うように取付けてください（図 5）。

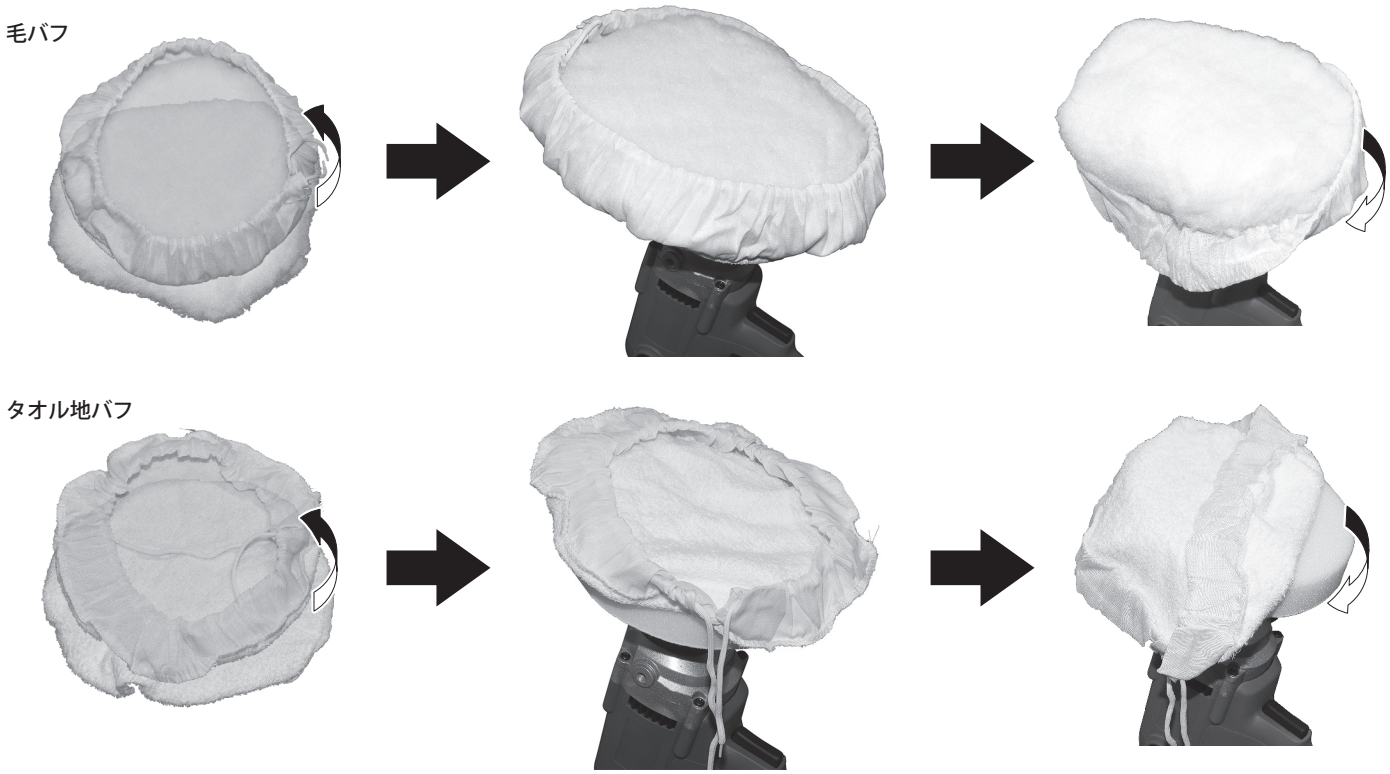
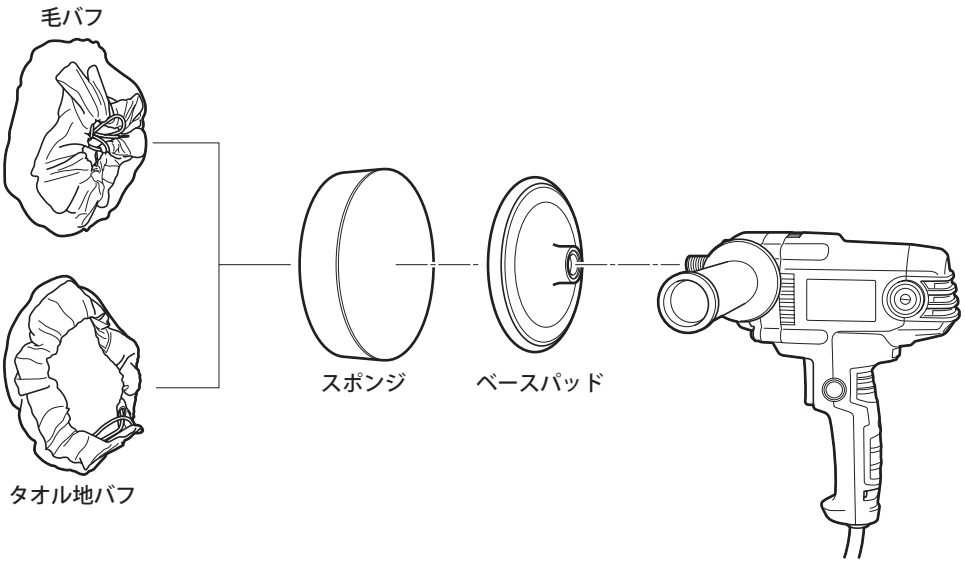



図 3　図 4　図 5

4. バフを取り付けたらひもを絞り、結んでください。

## バフ組付構成図



## 【操作方法】

1. スイッチレバーが「オフ OFF」になっているかを確認してください。
2. スイッチレバーを押すと「オン ON」になり本製品が起動します（図 6）。

**図 6**

3. スピードノブを使用して速度設定が出来ます。速度を上げるにはノブを時計回りに動かしてください。スピードを落とすにはノブを反時計回りに動かしてください。
   スピードノブを使用すると、スイッチレバーを完全に押したときに回転が自動的に所定の速度になります。
4. スイッチレバーが作動している間にスイッチロックボタンを押すと、スイッチレバーに一定の力をかけずに電動ポリシャーを作動させることが出来ます。
   このモードをオフにするには、スイッチレバーを押してください。

## ■作業方法

1. スポンジをベースパッドにしっかりと取付けてください ( 図 2)。
2. スポンジの表面全体に大匙 1 杯くらいのワックスを均等に薄くつけてください ( 図 7)。
   ご使用になられるワックスの使用方法・注意事項をよくお読みになり、正しく使用をしてください。
   直接作業対象物（車等）を電動ポリシャーで磨かないでください。
   また、ワックスを直接作業対象物（車等）に塗布しないでください。
   2 回目と 3 回目の塗布は上記のように繰り返してください。
   スポンジは再補充の場合それほど吸着しません。
3. 電動ポリシャーを両手でしっかりと持ち、低速度で作業対象物（車等）の表面に当てたり停止させたりしてから、適切な速度で使用してください（図 8)。
   ワックスを均等に塗布するためには、電動ポリシャーを強く押し付けず、ランダムに動くようにしてください。
   常に作業対象物（車等）の表面または作業対象物（車等）に接して電動ポリシャーを始動し停止してください。
   電動ポリシャーを縦横に幅広く移動させながら作業をしてください。1 か所に集中して作業をしたり強く押し付けたりすると、キズやへこみが発生するおそれがあります。
   車の場合、次にドアなどの表面で作業をしてください。
   垂直面上で作業をする時は、常に電源コードを肩にかけるか、地面に垂らし、可動する研磨ヘッドから電源コードを十分離してください。
   ドアミラーやドアハンドルなどの研磨しにくい面は、スポンジを取り外し、手で研磨をしてください。

図 7

図 8

4. スポンジ、ベースパッド部分にタオル地バフを取付けます（図 3、図 4、図 5）。
   次にタオル地バフでワックスを拭き取ります。垂直面上で作業をする時は、常に電源コードを肩にかけるか、地面に垂らし、可動する研磨ヘッドから電源コードを十分離してください（図 9）。ドアミラーやドアハンドルなどの研磨しにくい面は、タオル地バフを取り外し、手で研磨をしてください。

図 9

5. 最後にタオル地バフ取り外して毛バフを電動ポリシャーに取付けてください（図 3、図 4、図 5）。光沢を出すために縦横パターンで長めに全面をさっと磨いてください。強く押し付けないでください。電動ポリシャーの動きにあわせてください（図 10 参照）。
   磨き終わった後、電源スイッチを「オフ OFF」にして、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。

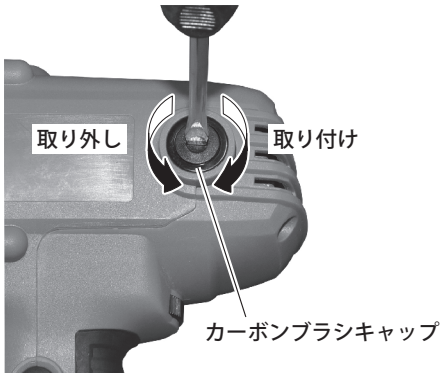
図 10

## 【手入れとメンテナンス】

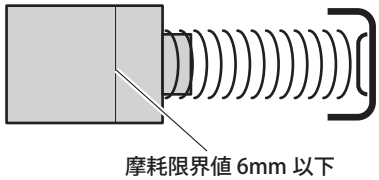
### ● カーボンブラシについて

本製品のモーター部にはカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシは消耗品ですので、定期的に点検し、6mm 以下に摩耗している場合は新品と交換してください。

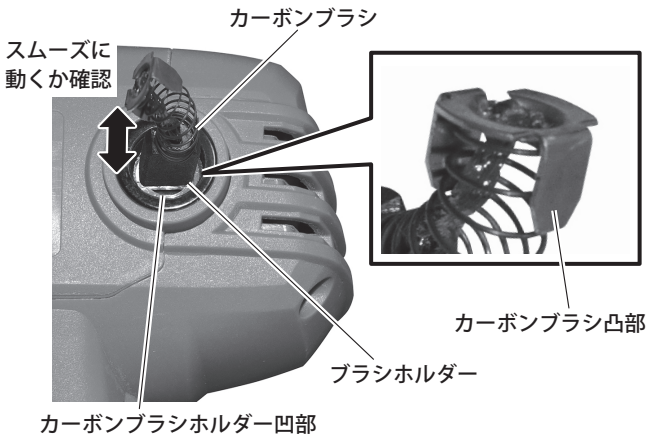
1. カーボンブラシキャップをお手持ちのマイナスドライバーなどで取り外してください。
2. 中にあるカーボンブラシの金属部分にマイナスドライバーなどの先端を引っ掛けて取り出してください。




3. カーボンブラシが摩耗限界値の 6 mm以下に摩耗していれば交換してください。




4. カーボンブラシの点検・交換が終わったら、図の向きにセットし、奥までしっかり入れてから、カーボンブラシキャップを取付けてください。
   - カーボンブラシがブラシホルダー内でスムーズに動くか確認してください。
   - カーボンブラシの凸部がブラシホルダーの凹部にまっすぐ収まるようにして、カーボンブラシキャップを取付けてください。




反対側のカーボンブラシも同じ要領で点検を行い、交換する場合は必ず左右とも同時に行ってください。

## ● 電動ポリシャーの手入れとメンテナンス

1. スポンジ、タオル地バフと毛バフは、洗濯機に少量の洗剤を入れ、冷水を使って短い洗濯サイクルで洗濯できます：それから乾燥機を使って中程度の熱で乾かします。しかしスポンジやバフの寿命を長くするには手洗いと空気乾燥をお薦めします。
2. スポンジやバフの長い寿命と形を保つために、スポンジやバフを上向きにして保管してください。
3. 電動ポリシャーを使用しない時は、スポンジやバフが完全に乾燥し元の形を保つように、ベースパッドからスポンジやタオル地バフ、毛バフを取り外してください。
4. 電動ポリシャーは下向きの圧力をかけることなくしっかり掴んでください。強く押し付けると動きが遅くなり、作業の品質に影響します。
5. 研磨剤を塗布しすぎないでください。スポンジが多すぎる研磨剤を吸収すると長持ちせず、研磨が困難で長引きます。
6. スポンジがベースパッドから頻繁に外れる場合、ワックスの使い過ぎの可能性があります。
7. 研磨剤で磨くのが難しいような場合、研磨剤を使いすぎている可能性があります。
8. 電動ポリシャーを清掃するには、低刺激の石鹸と湿ったスポンジのみを使ってください。どの部分も液体に浸さないでください。電動ポリシャーは絶対にお客様で修理をしないでください。
9. 電源コードの交換が必要な場合、危険を防止するため、MonotaRO に連絡をしてください。